

ベルディアさんから寄付をいただきました



3月28日、(株)ベルディアさん(岡野傑代表取締役)から、日野第二工業団地内に所有する土地(1万4385.14㎡)を町に寄付していただきました。

今回寄付していただいたのは、工業団地に係る土地で、本来、開発事業者が開発完了後に、町に帰属すべき土地でしたが、開発業者が倒産したことにより、権利関係が複雑に絡み合い、50年にわたり未解決となっていました。

(株)ベルディアの創業者の岡野全宏さんと代表取締役の岡野傑さんが、複雑な権利関係を整理された上で、土地の権利を(株)ベルディアさんで一括取得され、今回日野町に寄付いただいたことにより解決に至りました。

長年にわたる懸案事項の問題解決への惜しみないご協力、ありがとうございました。

岡野傑社長(左)、藤澤町長(中央)、岡野全宏会長(右)

精神保健福祉協会表彰を受賞



天津のピアザ淡海で行われた「こころの健康フェスタ2018」の精神保健福祉事業功労者表彰式で吉澤康雄さんが滋賀県精神保健福祉協会表彰を受賞されました。

これは、吉澤さんの長年にわたるボランティア活動(ピアカウンセリング)が、県民の精神保健福祉の向上に寄与した功績が認められ贈られたものです。

おめでとうございます。

南比都佐小学校が子どもの読書活動優秀実践校を受賞

4月23日に東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「子どもの読書活動推進フォーラム」にて、南比都佐小学校が「平成31年度子どもの読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣表彰を受けられました。

次の3点が特に評価されました。

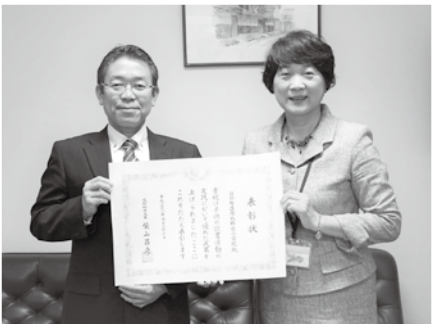
①図書委員による「おすすめの本」の紹介、全校児童や幼稚園児への読み語り、放送委員のテレビ読書など、児童会活動による主体的な実践をしていること

②国語の学習で日常の読書につなげるための並行読書を活発に展開

し、学習の成果を異学年で交流する活動につなげるなど、工夫した授業をしていること

③読書活動を推進するために、児童の年間読書目標を設定し表彰したり、PTAや町立図書館と連携して親子参加型学習参観(読書活動ワークショップ)を実施したりして、学校と家庭が一体となった読書活動の取り組みを進めていること

人生をより深く生きる力を身に付けていく上で大切な活動をこれからも続けてください。受賞おめでとうございます。



受賞された南比都佐小学校の小椋校長(左)、今宿教育長(右)

ひのらこだより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

南比都佐幼稚園

今回は、南比都佐幼稚園の特色である自然体験活動について紹介します。

本園は、3歳児5名、4歳児13名、5歳児10名で合計28名の小さな幼稚園です。南比都佐小学校と隣接しており行事を一緒にしたり、低学年や5年生の児童との交流も盛んに行ったりしています。また、園の周りには自然がいっぱいで地域の方々との交流も盛んです。



田んぼでの虫つかみ

近くの田んぼにはバッタやカマキリがいっぱいいたり、小川にはメダカが元気よく泳いでいたりします。園児たちは、小川を飛び超えたり、虫を追いかけたりといきいきと活動しています。

「つつじの丘」でのいきいき活動

地元の方のご厚意により、下草を刈ったりつつじの苗木を植えたりして整備された、園から程よい距離の山を使わせていただいています。

園児たちは、「つつじの丘」と呼んで、探検に回ったり、虫つかみに行ったり、がけを登ったり跳んだりと思いきりのびのびと活動しています。

園児にとって、自然体験のできる大切な場所であるとともに、体幹づくりなどの運動面でも大切な場所となっています。



必佐幼稚園

【教育目標】 わくわく、にこにこ、のびのび遊ぶ必佐っ子の育成

必佐幼稚園には、今年度3歳児29名、4歳児35名、5歳児26名の合計90名が通園しています。昨年度、創立100周年を迎え、記念行事では、地域の皆様にも盛大にお祝いをしていただきました。大正・昭和・平成そして令和の時代へと時代は変われど、子ども達の笑顔と教師の願いは変わらぬ活気あふれる幼稚園です。

安心できる居場所 (にこにこルーム)

預かり保育が始まり、3年目になります。今年度は、3歳児・4歳児・5歳児各9名ずつの27名が在籍しています。異年齢児が楽しく過ごし、友達との関わりの中で育ち合っています。



心も体も強く豊かに

朝のチャレンジタイムで体操やランニングをしています。また、近くの公園や神社など積極的に散歩にも出かけています。体を動かして遊ぶ中で、心も体も健康的に過ごせるように取り組んでいます。



共に学び合う集団作り

●異年齢の関わりを通して

大きい組へのあこがれ、小さい組への優しさやいたわる気持ちが育つように、異年齢での関わりを大切にしています。小さい組の保育室に掃除に行ったり、交流給食をしたり、各学年での遊びに誘ってもらい様々な活動を体験したりして、互いの立場を意識し、関わりを通して育ち合っています。

●同年齢の友達との関わりを通して

友達からの刺激を受けたり、思いや考えを伝えたり聞いたりして同じ目的に向かって協力し合って活動に取り組む中でたくさんの事を学び合い生きる力をつけています。



◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583